

再評価結果（平成27年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業名 一般国道17号 <small>あげおどろ</small> 上尾道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 関東地方整備局		
起終点 自：埼玉県さいたま市西区宮前町 <small>にしくみやまえちよう</small> 至：埼玉県桶川市川田谷 <small>おけがわしかわたや</small>	延長 <div style="text-align: right;">11.0km</div>			
事業概要 国道17号は東京都中央区を起点として、さいたま市、前橋市等の主要都市を通過し、新潟市に至る延長約370kmの主要幹線道路である。 上尾道路は、国道17号の交通混雑の緩和と圏央道へのアクセス向上を目的とした延長20.1kmのバイパス事業である。				
H2年度事業化	H44年度都市計画決定 (H元年度変更)	H9年度用地着手	H14年度工事着手	
全体事業費 約1,148億円		事業進捗率 95%		
計画交通量 41,600～55,000台/日		供用済延長 6.3km		
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.2 (残事業) 1.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 125/1,399億円 事業費：86/1,345億円 維持管理費：38/54億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 1,506/3,079億円 走行時間短縮便益：1,340/2,764億円 走行経費減少便益：132/240億円 交通事故減少便益：34/76億円	基準年 平成26年
感度分析の結果 【事業全体】交通量：B/C=1.9～2.5（交通量±10%）【残事業】交通量：B/C=10.4～13.8（交通量±10%） 事業費：B/C=2.2～2.2（事業費±10%） 事業費：B/C=11.3～13.0（事業費±10%） 事業期間：B/C=2.1～2.3（事業期間±1年） 事業期間：B/C=11.8～12.3（事業期間±1年）				
事業の効果等 ①交通混雑の緩和 ・上尾道路に並行する国道17号現道の損失時間は、350.2千人時間/年・kmで、全国平均（26.3千人時間/年・km）の約13倍となっている。 ・上尾道路の整備により、国道17号現道の交通渋滞の緩和が見込まれる。 ②安全安心な通行の確保 ・上尾道路に並行する国道17号現道の死傷事故率は、103.3件/億台kmで、全国平均（102.0件/億台km）と同程度。 ・上尾道路の整備により、現道の交通の円滑化が図られ、交通事故の減少が見込まれる。 ③圏央道へのアクセス向上 ・上尾道路の整備により、圏央道へのアクセスが向上し、圏央道の利便性が向上。 ・埼玉県が5年毎に策定している総合計画（平成24年6月）では、政策指標としてインターチェンジ20分到達圏域の増加が示されており、上尾道路の整備により到達圏域が拡大（約2割増）。				
関係する地方公共団体等の意見 ・埼玉県知事の意見： 上尾道路は、圏央道へのアクセス向上や国道17号現道の慢性的な渋滞緩和を図る上で非常に重要な道路です。 ついては、江川地区の貴重な湿地環境の保全対策を実施しつつ、早期完成に努めていただきたい。 ・さいたま市長の意見： 国道17号上尾道路につきましては、慢性化している国道17号周辺の交通混雑の緩和や沿道環境の改善に寄与し、また、地域間の道路網を担い、都市の骨格をなす幹線道路として認識しているところです。 また、圏央道に接続することで、より一層の整備効果が発揮され、利便性の向上及び経済発展に大きく貢献されるものと期待しております。 現在、さいたま市では、広域的な地域との連携強化のネットワークの構築を目指すべく道路整備を鋭意進めていることから、国道17号上尾道路についても引続き整備継続頂けますようお願い申し上げます。				

事業評価監視委員会の意見

事業の継続を承認する。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・平成22年3月に圏央道(川島IC～桶川北本IC)間L=5.7km、平成23年5月に圏央道(白岡菖蒲IC～久喜白岡JC)間L=3.3kmが4/4車線で開通。
- ・桶川都市計画道路川越栗橋線(川田谷工区)が、平成21年7月に開通。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・平成2年度に事業化、用地進捗率99%、事業進捗率95% (平成26年3月末時点)。
- ・平成21年度：さいたま市西区宮前町～上尾環状線間 延長4.2km (2/4) 部分開通。
- ・平成21年度：川越栗橋線～桶川市川田谷間 延長2.1km (2/4) 部分開通。
- ・今後は、用地取得及び橋梁・改良・舗装工事を行い、事業推進を図る。また、江川地区における環境保全対策等を実施。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・平成27年度：さいたま市西区宮前町～桶川市川田谷間 延長11.0km (一部2/4車線) 開通予定。
- ・上尾道路全線の開通による効果を早期に発現するため、引き続き工事を実施。

施設の構造や工法の変更等

環境保全対策の追加や、工事着手後に判明した現地条件の変更への対応、関係機関協議等の結果により生じた対応、開通を段階的に行うことに伴う対応により、事業費を増加。

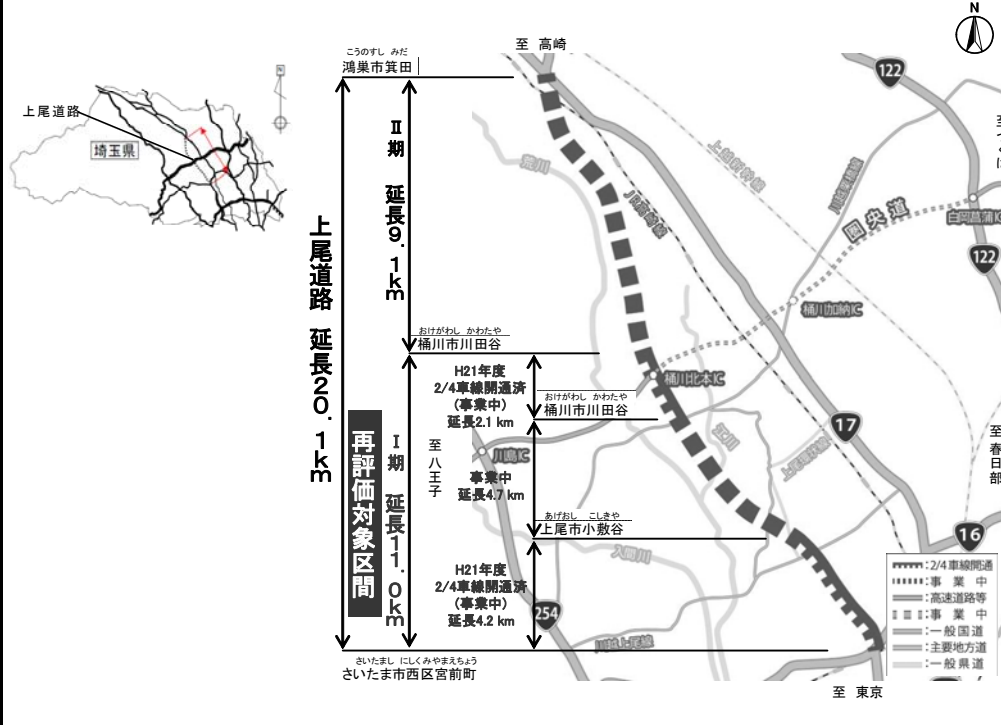
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。